

大学生との議会報告で寄せられた意見について（平成31年3月分）

No	議会報告会での大学生からの主な意見	常任委員会での協議内容
1	<p>白山市のイベントのお知らせがあまり届かない。(金沢工業大学)</p>	<p>本市のイベント情報は、広報はくさん、新聞広報、ラジオ広報、市ホームページ、SNSとしてフェイスブック、また、民間企業が運営する無料のスマートフォン・タブレットアプリ「マチイロ」を活用し発信しています。</p> <p>今後は、学生の皆さんが閲覧しやすいホームページやフェイスブックを充実させ、イベント情報等をタイムリーに発信していきたいと考えています。</p>
2	<p>大学の「はいかい事故防止ワーキンググループ」で議論したが、まだ患者さんにロガー（自分の移動した経路を衛星を利用して記録する装置）をつけて実験を行えていない。白山市や社会福祉協議会、松任石川中央病院等に協力いただき、産学官と協力して研究できないか。(金沢工業大学)</p>	<p>市では、はいかい高齢者安心ネットワークを強化していくとともに、地域での見守り体制の整備を進めています。</p> <p>今後とも各種会議や事務打合せを通してその効果等を十分把握した上で、産学官との協力による共同研究について、検討してまいりたいと考えています。</p>
3	<p>若い人たちは災害に対する関心が薄いので、大学の防災訓練のプロジェクト活動として、実際に災害が起こったときにどこに避難するかということ白山市と大学で協議できないか。(金沢工業大学)</p>	<p>若い方の災害に対する関心も高まりますし、市としましても若い方の御意見も大事なことでと考えており、そういったお話がいただければ、御意見を伺ってみたいと思います。</p>
4	<p>白山市と協力して研究を行ったということで達成感や自信がついた。行政と学生が連携して地域の問題を解決していくことで相互によくなっていくと思う。(金沢工業大学)</p>	<p>今後とも、学生さんが達成感や自信を深め、資質向上につながる共同研究の実施を通して、本市の地域課題の解決に向けた取り組みを学生さんとともに、実施してまいりたいと考えています。</p>
5	<p>高齢の方が多のにバスが少ない。(金沢工業大学)</p>	<p>現在、バスの運行を担う乗務員が不足しており、利用状況が少ない路線から順次減便なされるような状況です。地域公共交通網形成計画では、限られた車両、人員、予算の中、効率的な運用による利便性の改善を目指しており、来年度以降、これに従い改善策を検討する予定です。</p>

6	<p>選挙の関心がなく知識不足だ。投票の会場のイメージとしてかたい雰囲気があり、もうちょっと楽しい雰囲気になっていけばいい。(金沢工業大学)</p>	<p>投票に関してのかたいイメージを少しでもなくし、同時に選挙に対し意識づけを図ることを目的に選挙シンボルマークを作成しました。このシンボルマークについては、金城大学の学生の皆さんに作成を依頼し、市内中高生や金城大学の学生から多くの参加をいただきました。今後も、シンボルマークの活用のほか、投票に行きたくなるような雰囲気づくりを心がけていきたいと考えています。</p>
7	<p>白山比咩神社や獅子吼のパラグライダーにものすごく興味をもつけれども、公共交通機関が少なく、車がないとそこまで行けない。(石川県立大学)</p>	<p>平成27年度から平成29年度に鶴来観光周遊バス「くるりんバス」を行楽シーズンの休日に運行していましたが、利用者が少ないため平成29年度をもって運行が終了されています。運転手不足という現状では、周遊バスの復活は難しいかというふうに考えています。</p>
8	<p>松任総合運動公園や野球場、テニスコート等のスポーツ施設が古いので、増改築したりして大会などが開催されればもっと盛り上がるのでは。(金沢工業大学)</p>	<p>施設ごとの個別改修計画を作成して、実現に向けて今後財源の確保等も調査研究し、取り組んでいきたいと思っています。</p>
9	<p>高齢者に対する補償や子供に対する補償がしっかりと整っているまちに住みたい。(金沢工業大学)</p>	<p>ふるさと安心高齢者プランでは、元気でいきいきと暮らすための施策として、老人クラブ、シルバー人材センターへの支援、ふれあいサロン、入浴サービスリフレッシュ事業などがあります。また、地域で安心して暮らすための施策としては認知症施策、地域包括支援センターの機能充実等に取り組んでいます。今後も施策の周知に務めていきたいと思えます。</p> <p>また、安心して子育てができる環境づくりに向け、妊娠期から子育て期への切れ目ない支援に取り組むとともに、出前児童館などのソフト事業による児童館や児童センターの機能強化を図り、子供たちの健全育成に努めているところです。</p>

10	自治体の枠を超えて県全体が関わるスポーツイベントをしたらいいのでは。(金沢星稜大学)	県民体育大会、石川スポーツレクリエーション交流会の開催により、さまざまな形で広域連携の取り組みが進められています。この取り組みの中でスポーツの振興と地域の活性化につながるようなスポーツイベントの開催の検討が必要であると思っています。
11	学校の担任によっては最高学年のクラスを担当することもあり、部活動に出る機会が少なくなっている中で、外部コーチを職として認めることで子供たちが部活動に集中できる環境ができるのでは。(金沢星稜大学)	公立中学校の部活動コーチに対して賃金を払い雇用している例はない状況です。今年度から導入された部活動指導員は1時間当たり1,600円の報酬ですが、勤務は4週間で、24時間以内という制約があります。月4万円程度の報酬となり、職としてやっていくには少し難しいと思われるかもしれません。若い人たちが外部コーチとして中学校の部活動に関わっていただけることは、大変ありがたいことではありますが、現在のところ多額の賃金や報酬等を支払うのは難しいのではないかと考えています。
12	子供たちがスポーツを知る環境、スポーツを続けていける環境、将来スポーツに携わる職業に就きたいと思っている人がスポーツを続けられる環境づくりが大切では。(金沢星稜大学)	第2次白山市スポーツ推進計画は、生涯スポーツの充実など、5つの基本目標を掲げて子供から大人まで誰もが生涯にわたり、スポーツに親しめる環境づくりを推進することとしています。この目標の達成に向けて、体育協会それから各競技協会、スポーツ少年団など関係団体と連携を密にして、今後取り組んでいきたいと考えています。
13	白山市は豊かな自然があふれているので、その環境資源を生かして子供たちだけでなく親世代も巻き込んで遊ぶ機会をつくっていくことが、普段の遊びに繋がっていくのではないかと。(金沢星稜大学)	白山ろくの豊かな自然を活用してのイベント開催も有益と思っており、効果的なイベント開催も研究していきたいと考えています。

14	鏡のあるダンススタジオがあるといい。(石川県立大学)	ダンスに特化した練習施設、スタジオなどをつくることは現状では難しいですが、松任総合運動公園体育館の軽運動室には壁に鏡や手すりがつけられており、現在6つの団体が定期的に利用しています。
15	金沢とか野々市に住んでいる人を誘客するため、白山市の広い土地を生かしてレジャー施設やデパートなどの施設を誘致しては。(金沢工業大学)	レジャー施設やデパートなどを建設するには、都市計画法により用途区域が制限されており、法的な要件を満たさなければなりません。また何よりも出店にはその企業の進出意欲が必要であり、経営判断によるものでありますので御理解いただきたいと思います。
16	自分の知識を生かせる仕事が少ない。(金沢工業大学)	市では地元での就職を希望する学生の就職活動の支援とともに、学生が企業理念や事業内容を説明する機会を設けるために合同就職説明会を開催していますので、自分の知識を生かせる仕事を見つけることに役立てていただければと考えています。
17	<p>①白山の入り口に駐車場が少ないので登山口に立体駐車場を建てるなどの対策をすれば登山する人もふえるのではないか。(金沢工業大学)</p> <p>②白山登山中に山のほうは水不足によってトイレや水道が止まってしまうことがある。トイレなどに関しては石川県が管理しているということだが、市に協力していただいて直していただければと思う。(金沢工業大学)</p>	<p>①このエリアは白山国立公園内の特別保護地区内にあり、自然保護や景観保全の観点から、交通量の大幅な増加につながる駐車場の拡大や大規模な構築物等の建設は認められにくい状況と考えています。しかし、混在時には路上駐車が発生して登山者の利便性が損なわれる現状も見受けられており、引き続き国の関係機関等へ混雑解消の対策について要望したいと考えています。</p> <p>②石川県では2020年度夏の供用開始を目指して、室堂の交流トイレを建てかえる計画を進めているところであり、県営の公衆トイレも順次水洗化が図られているところです。市としては、その他の避難小屋についてもそうした整備がなされるよう働きかけたいと考えています。</p>

18	<p>大きい道を外れると除雪がよくできていない。 (金沢工業大学)</p>	<p>市道の全てを除雪路線とすることは現在のところ困難な状況であることから、地域の助け合いによる除雪体制づくりを進めてきているところです。また今年度から、除雪が効率的に行えるよう、除雪路線に第1次路線から第3次路線までの優先順位を設けるとともに、除雪機械の性能に応じた配備の見直しと、除雪体制の強化による作業の効率化にも取り組んでいるところです。</p>
19	<p>公園の遊具を危険だからと即撤去するのではなく、利用の経過を考慮して必要なものは残してほしい。 (金沢星稜大学)</p>	<p>市内の公園の遊具については、10年を経過したもの全てについて、毎年専門業者に委託して点検を行っています。その際危険と判断されました遊具については使用禁止とし、順次更新しています。基本的には老朽化した遊具については更新するように努めていますので御理解願います。</p>
20	<p>①白山市の観光資源にスポーツを取り入れる取り組みとして、フォトロゲイニングに自転車というスポーツを取り入れたら広域の取り組みになるのでは。 (金沢星稜大学)</p> <p>②白山市にはおしゃれなカフェがあるので、カフェやパン屋さん等を食べ歩きしながら写真を撮るという食べ歩きのフォトロゲイニングを行ってはどうか。 (石川県立大学)</p>	<p>①最近では自転車を使い観光スポットなどのチェックポイントをめぐるサイクルロゲイニングという競技も行われています。広範囲に点在する観光スポットをめぐするには自転車は適していると思われませんが、広域的に行うスポーツ競技となると安全上クリアしなければいけない点も多いと考えているところです。</p> <p>②今年度鶴来地域及び一里野地域においてジオパークをテーマとしたフォトロゲイニングを開催する中で、鶴来地域において地元商工会と連携して町なかの和菓子店をチェックポイントに含めたところ大変好評を得ているところです。</p>
21	<p>インスタグラムで今しかないと思わせるような割引やサービスの特典等の情報発信をもっと行ってはどうか。 (石川県立大学)</p>	<p>割引やサービスの特典等については、民間企業の経営に関することですので、市として情報発信は困難と考えていますので、御理解をいただきたいと思います。</p>

22	<p>①ジビエをもっとお手軽なイメージにするため、燻製肉に醤油をつけて燻製肉のうまみを抽出した調味料を使った食を作り出してはどうか。(石川県立大学)</p> <p>②白山市の地域ブランドの農産物を使用した6次製品の製造をサポートしたい。(石川県立大学)</p>	<p>①消費拡大を促進するにはジビエ肉を活用した商品をふやし、消費者のさまざまなニーズに答えていくことが有効な手段であり、今後もジビエ肉をもっと身近に感じることができる商品をふやす取り組みを進めたいと考えています。</p> <p>②市内産品を活用した6次産業化の取り組みについては、直接的な支援を行うとともに、産学がスムーズに連携できる環境づくりにも取り組んでいますので、御相談いただければ個別に生産者や加工業者との橋渡しを図って行きたいと考えています。</p>
23	<p>白山市のお酒について、小さなミニボトルに入れて並べて売れば女性でも1回で飲み干せるので手に取りやすいのでは。(石川県立大学)</p>	<p>ミニボトルのお酒であれば量が飲めない方でも気軽に楽しめると思われますので、市内の酒販組合に提案させていただきたいと考えています。</p>